ECO Garden

Green Mill

取扱説明書

エコガーデン

園芸用電気粉砕機

グリーンミル Quiet Ⅳ

MLG-1530B

このたびは本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書は運転操作および保守上の重要な項目について説明したものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただくとともに、お使いになる方がいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠危険	死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。 禁止事項は絶対にやめてください。
⚠注意	軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生する恐れがある内容です。充分にご注意ください。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁止	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
必ず守る	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
注意	この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。 行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

取扱説明書について

●この取扱説明書は本機を操作するときは、必ず身近な所に置いてください。
●本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒に取扱説明書もお渡しください。
●紛失や損傷したときは、お買い上げいただいた販売店に連絡してください。

⚠危険	死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。 禁止事項は絶対にやめてください。

禁止

感電の恐れがありますので、下記のことを守って作業する

- 雨中での作業はしないでください。
- 雨上がりや散水直後の作業はしないでください。
- 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。
- 濡れた手でスイッチ、電源プラグに触れないでください。
- 電源コードのアースクリップは、必ずアースしてください。

安全にお使いいただくために

⚠危険　死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

- 商品到着の際に、梱包箱に大きな破損があった場合や、本機に異常が見られた場合には、ご使用前に必ず確認して正しい状態でご使用ください。
- 整備点検・部品交換の際は、必ず本機のスイッチをOFFにして停止し、電源コードをコンセントから抜いてください。

よく読む

使用の前に必ず取扱説明書をよく読む

- 本機を使用する場合は、操作手順や注意事項などをよく読み必ず守ってください。
取扱の方法・作業の仕方等を習得してから慎重に作業をしてください。

禁止

ご家庭の剪定後の生木粉砕作業以外には使用しない

- 本機は剪定後の生木粉砕のために設計・製造されていますので、園芸用の剪定枝の粉砕以外には使用しないでください。目的以外で使用されますと、ケガや事故の原因になります。また本機の寿命を縮めたり破損する恐れがあります。
- 剪定したばかりのやわらかい生木でお使いください。
硬い木や、竹・つる・葉や雑草、乾燥した枝を入れたり、細い枝を束にして入れると本機の故障の原因となります。
- ぬれた枝・枯葉等を投入すると排出口で詰まることがあります。

刃部に手足等、身体を近づけない

- 作業時、本機の点検・調整・手入れなどを行う場合は、特にケガ防止の為に必ず革手袋等を着用してください。
- 投入口や排出口などに手を入れないでください。手が切れる恐れがあり大変危険です。
始動前には投入口内に何もない事を確認してください。
- 投入口に顔を近づけないでください。枝等が飛び出してきた場合、目等に当たる恐れがあり大変危険です。
- ご使用中に異常音がしたり異常な振動が感じられた場合は、すぐに電源を切り使用を中止してください。大きな振動は、一般的にトラブルの警告です。
- 排出口に手や足、顔を近づけないでください。粉砕物が排出されますのでケガをする恐れがあり危険です。

傾斜面等、不安定な場所での作業及び放置はしない

- 凸凹地や傾斜地で使用をすると、本機がバランスを保つことができず横転し事故が発生する恐れがあります。

子供や操作方法が理解出来ない方は使用しない

- 本機の操作方法をご存知ない方、または理解できない方には操作させないでください。
- 本機に子供や物品を乗せたり、子供に操作をさせないでください。
- 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめください。

こんなときには使用しない

- 夜間及び天候の悪い時は使用しないでください。
- 疲れている場合は使用しないでください。もし、機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
- 各部のカバー類を外した状態では危険ですので、使用しないでください。

安全にお使いいただくために

点検・確認

使用の前に各部の点検・調整及び組立方法を確認する

- 正常でない機械を使用するとケガや故障の原因になりますので、各部の点検・調整及び組立方法を確認してください。
- 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に動作するか充分点検してください。
- 本機の組立および調整を適切に行ってください。
- もし本機に異常がある場合は使用しないでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機のラベルに記載されている電気規格がコンセントの仕様に合っているか確認してください。
- 電源コードを引いて本機を移動させないでください。
- 電源コードに損傷がないか充分確認し、損傷があれば本機を使用しないでください。

必ず守る

次の場合は本機の電源コードをコンセントから抜く

- 下記の場合は、必ず本機のスイッチを切り、電源コードを外し、刃が停止していることを確認してから行ってください。
- 組み立てる時、整備点検・部品交換・修理を行う時。
- 使用中に異常を感じた時。
- 持ち運びする時。掃除等をする時。使用しない時。保管する時。本機から離れる時。
- 粉砕物が詰まった場合はスイッチをOFFにして本機を停止し、電源コードをコンセントから抜いてから取り除いてください。

子供やペットを近づけない

- 作業時に粉砕物等でケガをする恐れが有りますので、作業者以外は作業場に近づけないでください。
- 子供のいる近くで使用したり、また子供に使用させたりしないでください。

作業に適した服装で作業する

- 操作時および各部の点検、整備、調整及び粉砕作業時は常に安全面に配慮し、ゴーグル、手袋、安全靴、耳栓等を着用してください。袖・裾にダブつきのない長袖・長ズボンなどの作業服を着用し、紐やネクタイがぶら下がった服の着用はしないでください。

- 粉砕する枝の中に金属・ガラス・石等がないかよく注意してください。
- 本機を始動する前に、投入口に何も入っていないことを確認してください。
- 作業中には収集ボックスが満杯になっていないか確認して、粉砕物が排出口付近に蓄積しないように注意してください。
  本機の排出口が詰まると粉砕物が排出されず、投入口の中に枝等が詰まってしまいます。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意	軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生する恐れがある内容です。充分にご注意ください。

必ず守る

本機をぶつけたり、落下させたり強い衝撃を与えない

- 本体に破損、亀裂、変形があるとケガや故障の原因となります。

本機の分解や改造をしない

- 機械の手入れに必要な部品は、安全確保のために純正部品を使用し交換してください。
- 本機に異常を感じた時は直ちに作業を中止し、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 取扱説明書の記載以外の分解修理及び改造は行わないでください。故障する恐れがあります。

延長コードは使用しない

- 電源コードは10m以上長くされますと、電圧の低下により安全装置が誤作動したり、標準の能力が発揮できない場合がありますので、延長コードは使用しないでください。

作業後の注意

- 作業が終了した際は、必ず本機スイッチを停止してから電源プラグを抜いてください。

使用後や収納保管時の注意点

- 使用後は必ず手入れをして、湿気の少ないところに保管してください。湿気の多いところではサビが発生し、故障の原因となります。
- 収納時は、本機が倒れても危険のないようにしてください。
- 使用後はお子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管してください。

警告・注意ラベルの貼付位置

安全に使用していただくために、本機には警告・注意ラベルが貼ってありますので、確認してからご使用ください。
なお、ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。

各部の名称と仕様

各部の名称

仕様

型式	MLG-1530B
寸法	約 長さ 580×幅 480×高さ 930㎜
重量	約28.5kg
定格電圧	100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	1500W
電源コード長さ	10m

定格時間	連続
安全機構	モーター焼損防止機構 安全装置スイッチレバー
粉砕能力	～φ35㎜ （生木の場合。木の種類・状態によって異なります。）
刃回転数	42/50rpm（50/60Hz）（無負荷時）
収集ボックス容量	60L

本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

各部の名称と仕様

梱包明細

① ホイール ···· 2

② ホイールカバー ···· 2

③ サポート台カバー ···· 2

④ サポート台 ···· 2

ホイール取付用

⑤ ボルト M8×75 ···· 2

⑥ ワッシャー 8㎜ ···· 4

⑦ ブッシュ（カラー）8×12×29 ···· 2

⑧ ワッシャー 8㎜ ···· 2

⑨ ナット M8 ···· 2

サポート台取付用

⑩ セルフロックナット M6 ···· 2

⑪ ボルト M6×50 ···· 2

本体とスタンドベース取付用

⑫ スクリュー ST4.7×25 ···· 4

⑬ ワッシャー M4 ···· 4

⑭ 本体 ···· 1

⑮ スタンドベース ···· 1

⑯ 収集ボックス ···· 1

付属品

ゴーグル ···· 1

手袋 ···· 1

押し込み棒 ···· 1

スパナ（10×13） ···· 2

六角レンチ ···· 1

⚠ 注意

必ず守る

開梱・組立作業は、けが防止のために充分注意して行い、作業者は安全靴・手袋を着用してください。

● 段ボールを開封し、梱包品が全て揃っているか確認してください。

※ 箱、梱包材は収納時や移送時に必要です。大切に保管してください。

組み立て

⚠注意

刃物注意

本機の組み立てや各部の調整を行う場合は、ケガ防止のために必ず革手袋等を着用し、刃部に充分注意してください。

1. 箱を開封し、本機を箱から取り出してください。
2. 本機の本体と付属品を収集ボックスから引き出してください。

本体

付属品

3. スタンドフレームにホイールを取り付けてください。

⑤ボルトに ⑥ワッシャー・⑦ブッシュ（カラー）を入れて ①ホイール・⑥ワッシャーに通し、スタンドフレームに⑧ワッシャー・⑨ナットで取り付けてください。（両側）

①ホイール に ②ホイールカバー をはめ込んでください。

4. スタンドフレームの下側にサポート台・サポート台カバーを取り付けてください。

③サポート台カバー・④サポート台に⑪ボルトを通して、⑩ナットでスタンドフレームに取り付けてください。

5. 本体を逆さにして置き、スタンドベースと本体の形状が合うように乗せ、4本の ⑫ スクリュー・⑬ ワッシャー で取り付けます。
上下の向きを戻すときは本体部分をしっかりと持つようにしてください。

⑫ スクリュー

⑬ ワッシャー

操作方法

⚠ 注意

必ず守る

作業時は安全の為、必ずゴーグル・手袋・安全靴・耳栓等を着用してください。
本機は園芸用粉砕機ですので建築資材や角材等は入れないでください。
切れ味調整ノブは必ずギアブレードを回転（正転）させた状態で回して下さい。
回転していない状態で調整ノブを締め込み過ぎますと、ギアブレードがロックされることがあり故障の原因となりますのでご注意ください。

安全装置スイッチレバー

● 収集ボックスを、安全装置スイッチレバーがある側から本体下のスタンドベース内に入れてセットしてください。次に安全装置スイッチレバーをロックの位置（上側）になるように上げてください。

※ ボックスが正確にセットされていなければ、レバーがロックの位置にならず、電源が入りません。

● 収集ボックスを引き出す際には、必ずスイッチレバーを解除の位置に下げて、ロックを解除してください。

安全装置スイッチレバーの使い方：
スイッチレバーを上下へ押し動かすことにより、スイッチをONもしくはOFFにすることが出来ます。

〈　確認　〉
安全装置レバーをロックの位置にして、スイッチパネルのON/OFFボタンを操作し、正常に動くか確認してください。

操作方法

スイッチパネル

ON/OFFスイッチ

- 緑色 ： ON （ — ） スタートボタン … 粉砕機始動
- 赤色 ： OFF （ ◯ ） 停止ボタン … 粉砕機停止

回転方向切替スイッチ

- ↓ ： 正転位置
- ↑ ： 逆転位置

【 正回転 ↓ 】剪定枝の粉砕作業

粉砕作業をするときは、回転方向切替スイッチを正転位置にしてONボタン（緑）を押すと正回転します。
投入口から粉砕する枝を入れると枝が引き込まれて粉砕されます。
（回転した状態でスイッチが固定されます。）

【 逆回転 ↑ 】粉砕する枝が噛み込んだときなど

OFFボタン（赤）を押してモーターを停止させてください。
次に回転方向切替スイッチを逆転位置にし、ONボタン（緑）を押して逆回転させてください。
逆回転の際はONボタン（緑）から指を離すと本機は停止します。（逆回転の状態でスイッチは固定されません。）
逆回転させることにより、噛み込んだ枝は投入口側へ引き出されます。

ブレーカーボタン

- 過負荷保護機構
  スイッチボックスにはブレーカースイッチが装備されており、切断刃がロックした時など過負荷が生じた場合に、電源が自動的に切れます。
- 過負荷保護機構が働いて停止した場合には約2～3分待ってから、ブレーカーボタンを押して解除してください。
  次にONボタン（緑）を押して再始動してください。

操作方法

粉砕機の始動

1. 収集ボックスを正常にセットした後、電源コードをコンセントに差し込みます。

2. 収集ボックスの安全装置スイッチレバーをロックの位置（上側）にします。

3. 回転方向切替スイッチが正転位置になっていることを確認します。

4. ON/OFFスイッチのONボタン（緑）を押します。
   正転・粉砕状態で固定しますので作業を始めてください。
   ※粉砕作業の前にリテーナーブロックの調整をしてください（ P.12 参照）

5. 停止する際はON/OFFスイッチのOFFボタン（赤）を押します。

6. 逆転する際は、運転を停止してから回転方向切替スイッチを逆転位置にして、ON/OFFスイッチのONボタン（緑）ボタンを押してください。
   逆転状態では、ONボタンを離すと停止します。

収集ボックスがいっぱいになったら

1. ON/OFFスイッチのOFFボタン（赤）を押して停止します。
2. 収集ボックスの安全装置スイッチレバーを解除の位置に下げます。
3. 収集ボックスを引き出し、粉砕物を捨ててください。

作業時の注意事項

- 粉砕するものが詰まってしまった場合は、正転と逆転を何度か繰り返すことで取り除くことが出来ます。
- 投入口内のかみ込んだ枝を取り出す際は、直接手を入れず道具等を使用して取り出してください。
- 本機投入口より飛び出した長い枝などは粉砕の際に大きく振れることがありますので、軽く手を添えて作業を行ってください。または、安全な距離を保って作業してください。
  安全の為に、長い枝を粉砕される場合には４０㎝程度に切断して入れる事をおすすめします。
- 投入口内に詰まりそうな場合は付属の押し込み棒で押し込んでください。
- 作業中には収集ボックスが満杯になっていないか確認して、粉砕物が満杯になる前に捨てるようにしてください。
  本機の排出口が詰まると、粉砕物が排出されずに引き込みが弱くなり、投入口の中に枝等が詰まってしまいます。
- 投入口のつまりを防ぐために、一度に多くの粉砕物を入れないようにしてください。
- 数日間保管された枯れ枝・乾燥した枝などは、硬くなって粉砕できない場合があります。剪定したばかりの生木でお使いください。
- つるや葉などの柔らかいものは、細かく粉砕できない場合があります。
- 葉の付いた広がった枝などは、粉砕前に切りそろえてください。
- 本体後部の換気口は塞がないようにしてください。

操作方法

切れ味（リテーナーブロック）の調節

⚠注意

必ず守る

- 切れ味調整ノブは必ずギアブレードを回転（正転）させた状態でゆっくりと回してください。
  回転していない状態で調整ノブを締め込み過ぎますとギアブレードが回転しなくなり、故障の原因となりますのでご注意ください。
- リテーナーブロックは調整ノブを締め込んでいくと回転刃で削って隙間を調整します。
  消耗品ですので、長期間使用したり一度に締め込んでしまうと、点検・交換が必要となりますのでご注意ください。
- 粉砕する枝の中に金属・ガラス・石・釘などが混ざっていないか確認し、必ず取り除いてください。

枝を正しく粉砕するために、切れ味を調節します

- ②リテーナブロックと①ギアブレードの最適な調整は、0～0.5㎜です。効果的に作業するために、できるだけこの間隔に調整してください。

- ハウジングの側面に③調整ノブがあります。
  最初はリテーナブロックとギアブレードの間隔は調整してありますが、ご使用前に確認して調整してください。

- 調整ノブを、本機を正回転させた状態で右回転（しまる）へゆっくり締め込んで、リテーナブロックとギアブレードの間隔を調整してください。削り音がしてリテーナブロックを削った細かいアルミの削りカスが排出口から出てきます。
  この状態でリテーナーブロックの摩耗部分が補正され切れ味が良くなります。

※ 調整後は必ず切れ味を確認してください。
※ 調整ノブを回し過ぎますと、リテーナーブロックの消耗が早くなります。
※ 調整ノブを回し過ぎてギアブレードが回転しない時は、回した分を戻してから一度刃を逆回転させ再調整し直してください。

- 葉や茎のような柔らかいものは、投入口で詰まり細かく粉砕できない場合があります。柔らかいものを投入するときは、押し込み棒を使ってください。
- 枝など粉砕物を投入する際は、投入口右側の広い方から投入してください。

⚠注意

必ず守る

長期間使用し、繰り返し調整ノブを回したり、調整ノブを回し過ぎた場合にはギアブレードがリテーナーブロックを必要以上に削ります。
これが続きますとリテーナーブロックが薄くなり破損する場合がありますので、その際はすぐに使用を中止して部品を交換してください。リテーナーブロックは消耗品です。

操作方法

⚠注意

必ず守る

- 本体の前カバーを開ける場合は本機のスイッチが切れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 粉砕物を取り除く際は、手袋・保護メガネを着用してください。
- 粉砕物を取り除く際、ギアブレードや他の部品が外れる場合があります。落とさないように注意してください。

内部で粉砕物が詰まったとき

押し込み棒や逆回転機構を使用しても投入口内の粉砕物が取れない場合は、本体前カバーを開けて取り出してください。

1. ON/OFFスイッチのOFFボタン（赤）を押して本機を停止し、電源コードをコンセントから抜いてください。
2. 本体前カバーの4ヶ所の六角ボルトを付属の六角レンチでゆるめ、本体前カバーを取り外します。
3. 本体内部の粉砕物やくずなどを完全に取り除いてください。
4. 本体前カバーを取り付けます。4ヶ所の六角ボルトを付属の六角レンチでしっかり締め付けてください。

リテーナーブロックの交換

1. ON/OFFスイッチのOFFボタン（赤）を押して本機を停止し、電源コードをコンセントから抜いてください。
2. 上記の手順で本体前カバーを取り外します。
3. 調整ノブを抜いてリテーナーブロックを外します。この時、固定クリップ・セルフロックナットを落とさないようにご注意ください。
4. リテーナーブロックを交換してください。
   逆の手順で固定クリップ・セルフロックナット・調整ノブを取り付けます。
5. 本体前カバーを取り付け、4ヶ所の六角ボルトを付属の六角レンチでしっかり締め付けてください。

注意事項

- 前カバー取り付けの際にボルトの穴位置がわかりにくい場合は、⊕ネジ4個を外して黒の樹脂カバーを取り外していただければ取り付けやすくなります。
- 本体前カバーの内側はアルミダイキャスト製ですので、六角ボルトを正しい位置にセットせずに無理に締め込むと、破損する可能性がありますのでご注意ください。

トラブルシューティング

枝が切れない	● 調整ノブを、本機を正回転させた状態で右回転（しまる）へゆっくり締め込んで、リテーナブロックとギアブレードの間隔を調整してください。 削り音がしてリテーナブロックを削った細かいアルミの削りカスが排出口から出てきます。 この状態でリテーナーブロックの摩耗部分が補正され切れ味が良くなります。 （ P.12 参照）
	● 粉砕する枝が乾燥して硬くなっていないか確認してください。 数日間保管された枯れ枝・乾燥した枝などは、硬くなって粉砕できない場合があります。剪定したばかりの生木でお使いください。 つるや葉などの柔らかいものは、細かく粉砕できない場合があります。
モーターが作動しない	● 電源コードがコンセントから抜けていないか確認してください。
	● 本体のブレーカーボタンが作動していないか確認してください。（ P.10 参照）
	● 収集ボックスの安全装置スイッチレバーがロックの位置になっているか確認してください。 収集ボックスが正確にセットされていなければ、レバーがロックの位置にならず電源が入りません。（ P.9 参照）
	● 延長コードは使わないでください。 ● 家庭用の同じ電源で大容量の使用がないか、ブレーカーの確認をしてください。 （違うコンセントでもブレーカーが同じ場合があります。） 電圧が低いと正しく作動しません。
切断刃が逆回転する	● OFFボタン（赤）を押してモーターを停止させてから、回転方向切替スイッチが正転位置になっているか確認してください。（ P.10 参照）
投入口に詰まる	● 切断部まで届いてない場合がありますので、正転させて押込み棒で押し込んでください。 一度に投入する量を減らして少しずつ入れてください。 ● 取れなければOFFボタン（赤）を押してモーターを停止した後、逆転させて取り出します。（ P.12 参照） もしくは、前カバーを外して取り除いてください。（ P.13 参照） 火ばさみなどを巻き込まないようにご注意ください。

メンテナンス

- 本機を長くご使用いただくために大切に扱い、定期的に掃除をしてください。
- 本体後ろ側にある換気口は常にきれいに掃除をし、埃などが無いようにしてください。
- 本機は雨水などがかかからない、湿気の少ないところに保管してください。
- 洗剤や溶剤は本機に損傷を与える可能性があるため、使用しないでください。化学薬品を使用するとプラスチック部品が破損する可能性がありますので使用しないでください。
- 本機を長期間使用しないときは、サビ等を防ぐためにサビ止め・潤滑油などを塗布してください。
- 各部のネジ（ボルト・ナット）は使用前、収納前に緩みなどがないかチェックしてください。

キンボシ株式会社

■本　　社　〒675-1372　兵庫県小野市本町10番地　TEL 0794-62-2391㈹　FAX 0794-63-5211
■東京支店　〒343-0821　埼玉県越谷市瓦曽根2-6-34 RSビル205　TEL 048-993-4581㈹　FAX 048-993-4582
■九州支店　〒841-0005　佐賀県鳥栖市養父町473番地2　TEL 0942-85-9277　FAX 0942-84-2700
■新潟・三条出張所　〒955-0063　新潟県三条市神明町2番1号　TEL 0256-32-9971　FAX 0256-32-9671

―― 部品のご注文はお買い上げいただいた販売店まで ――
URL: https://golden-star.co.jp/　ホームページでも受付いたします

5414-2203